

川内村 橋梁長寿命化修繕計画



宮渡橋

令和5年1月

福島県双葉郡川内村

— 目 次 —

I. 様式1-1

※ () は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

1. 長寿命化修繕計画の目的	1	—国土交通省— インフラ長寿命化 基本計画における記載事項
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	3	1. 対象施設
3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針 (・老朽化対策における基本方針) (・新技術等の活用方針)	6	2. 計画期間
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針 (・費用の縮減に関する具体的な方針)	8	3. 対策の優先順位の考え方 4. 個別施設の状態等
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期 (・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度) (・対策内容・対策の着手、完了予定年度) (・対策に係る全体概算事業費)	16	5. 対策内容と実施時期 6. 対策費用
6. 長寿命化修繕計画による効果	16	
7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	17	

II. 様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度 及び対策内容・着手時期又は架替え時期	18
--	----

III. 優先順位一覧表	20
--------------	----

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 川内村の現状

福島県浜通りに位置する川内村は、阿武隈高地の最高峰大滝根山の東山麓にあり、村の中央を流れる木戸川及び小白井川などの支流に沿って田畑や居住地を構成する、面積197.35平方km、人口2,371人（令和4年12月1日現在）の村です。

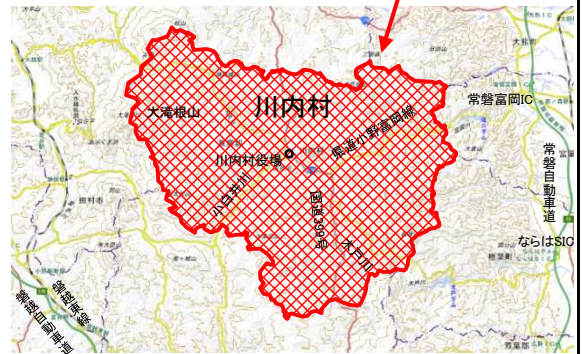
村の気候は東日本型の太平洋側気候ですが、平均標高が約456mと高く内陸部のため日較差は大きく、夏は気温が30℃以上になることもあります。朝夕は15℃前後まで下がることもあります。また冬は最低気温が-10℃を下回る日もあります。

村は東日本大震災による福島第一原発事故の影響で、一時は村外に避難していましたが、平成28年6月中旬に全ての避難指示が解除され、現在は約8割の村民が村内に居住しています。

村内には、国道399号と主要地方道小野富岡線をはじめ計4本の県道が通っており、総延長119.96kmの村道は、国県道に通じる生活道路や農耕用道路、また工業団地への流通経路として利用されています。

村の管理する橋梁は88橋ありますが、1橋当たりの人口が約27人と少ないことや、供用後50年以上を経過している橋梁の割合が、現時点で39%となっていることが特徴となっています。

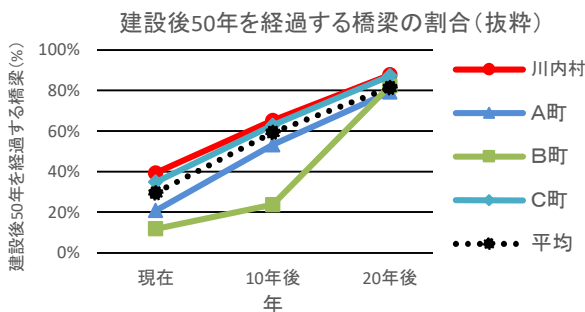
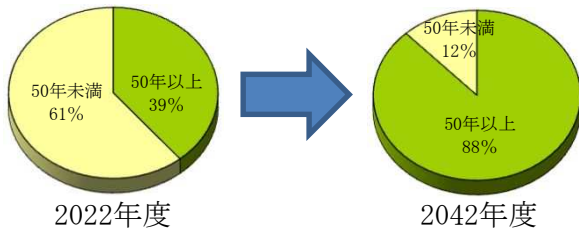
福島県内市町村位置図



2) 背景

川内村の管理する橋梁88橋の中で、2022年時点で建設後50年以上を経過する橋梁は全体の約39%ですが、10年後の2032年には65%、20年後の2042年には88%と急激に増加します。

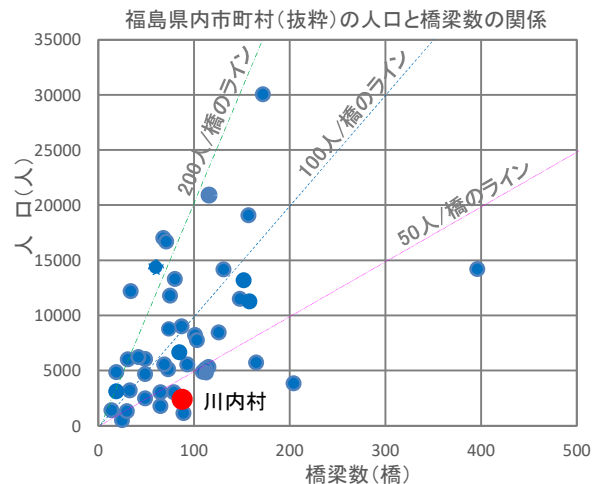
これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。



近隣町村との比較

町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当りの人口 (人/橋)
川内村	197.35	2371	12	88	0.4	27
富岡町	68.39	11805	173	75	1.1	157
檜葉町	103.64	6649	64	85	0.8	78
小野町	125.18	9018	72	87	0.7	104

人口は2022年現在

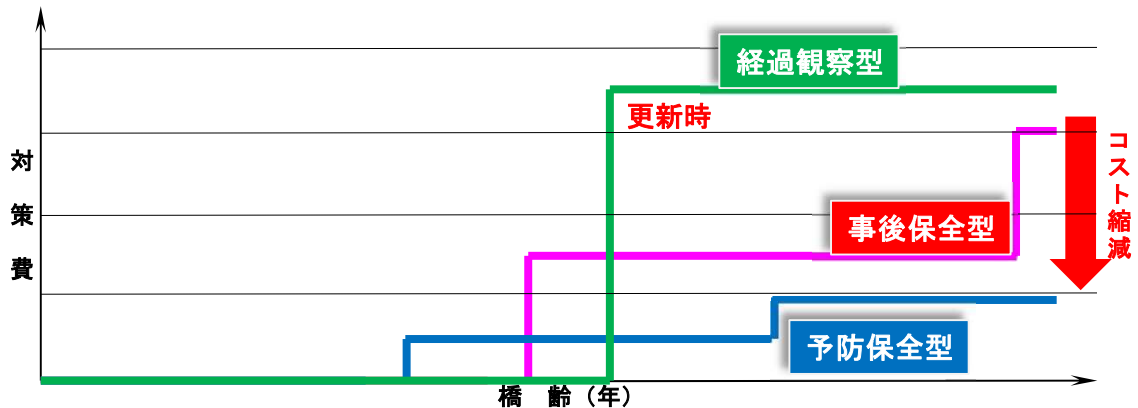
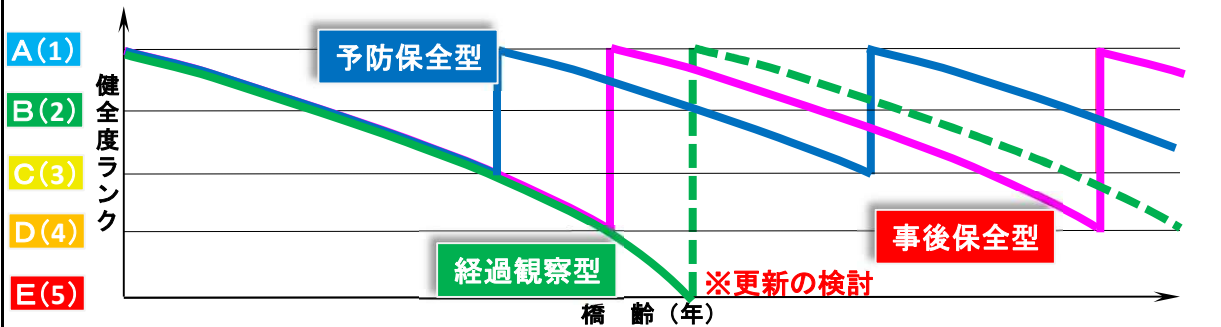


3) 目的

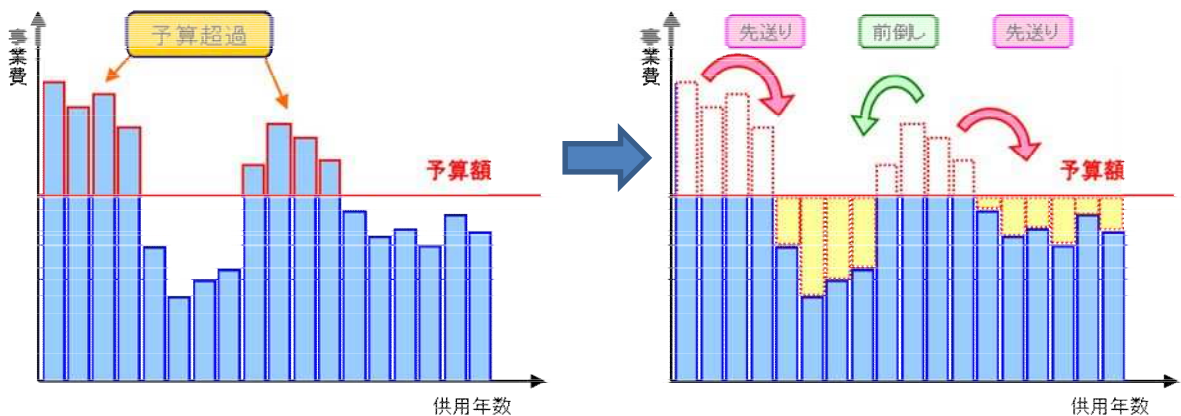
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があります。コスト削減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで川内村では、将来的な財政負担の低減および道路交通安全の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ

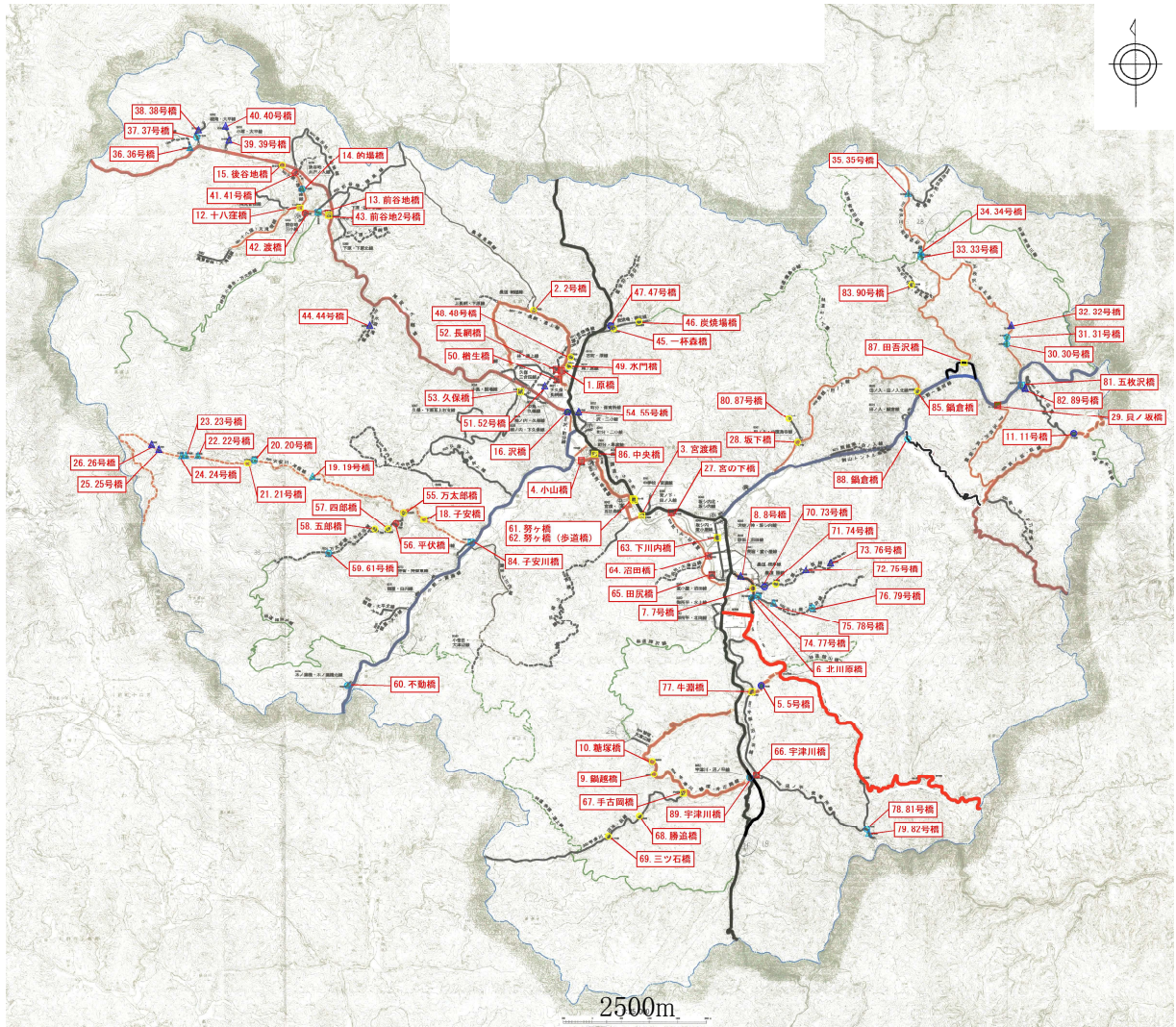


予算平準化のイメージ

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁
(対象施設)

	村道 1級	村道 2級	村道 その他	合計
全管理橋梁数	7	24	57	88
うち計画の対象橋梁数	7	24	57	88
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち2022年度計画策定橋梁数	7	24	57	88

長寿命化修繕計画の対象：川内村が管理する橋長2.0m以上の橋梁全88橋を対象とします。

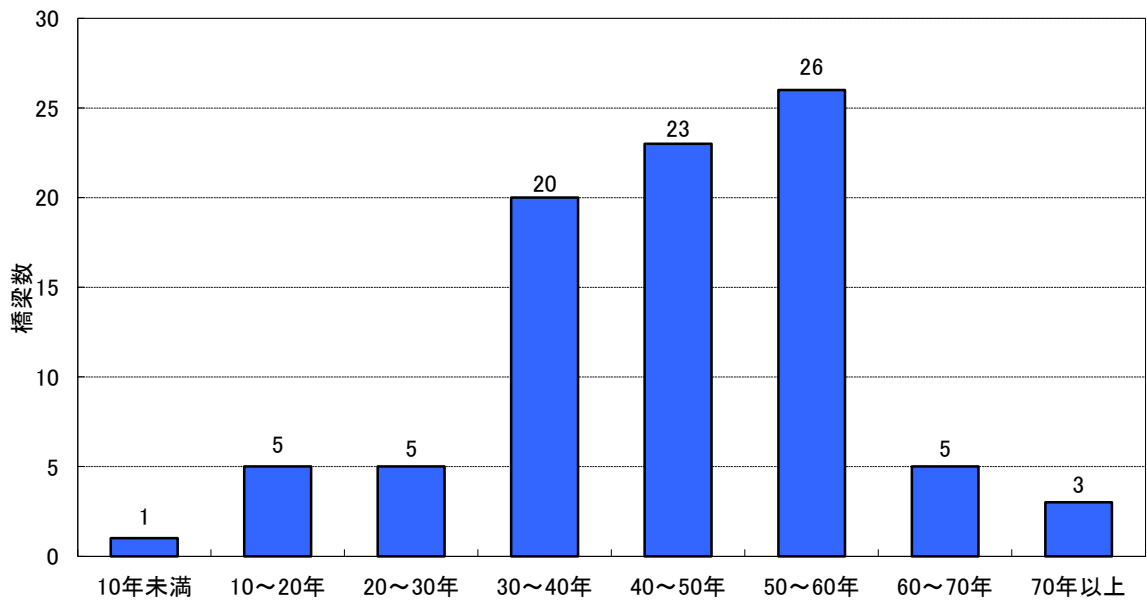


対象橋梁位置図

凡 例

橋種 橋長	橋種			
	鋼 橋	P C 橋	R C 橋	BOX その他
5 m 未満				
14.5m 未満				
100m 未満				
100m 以上				

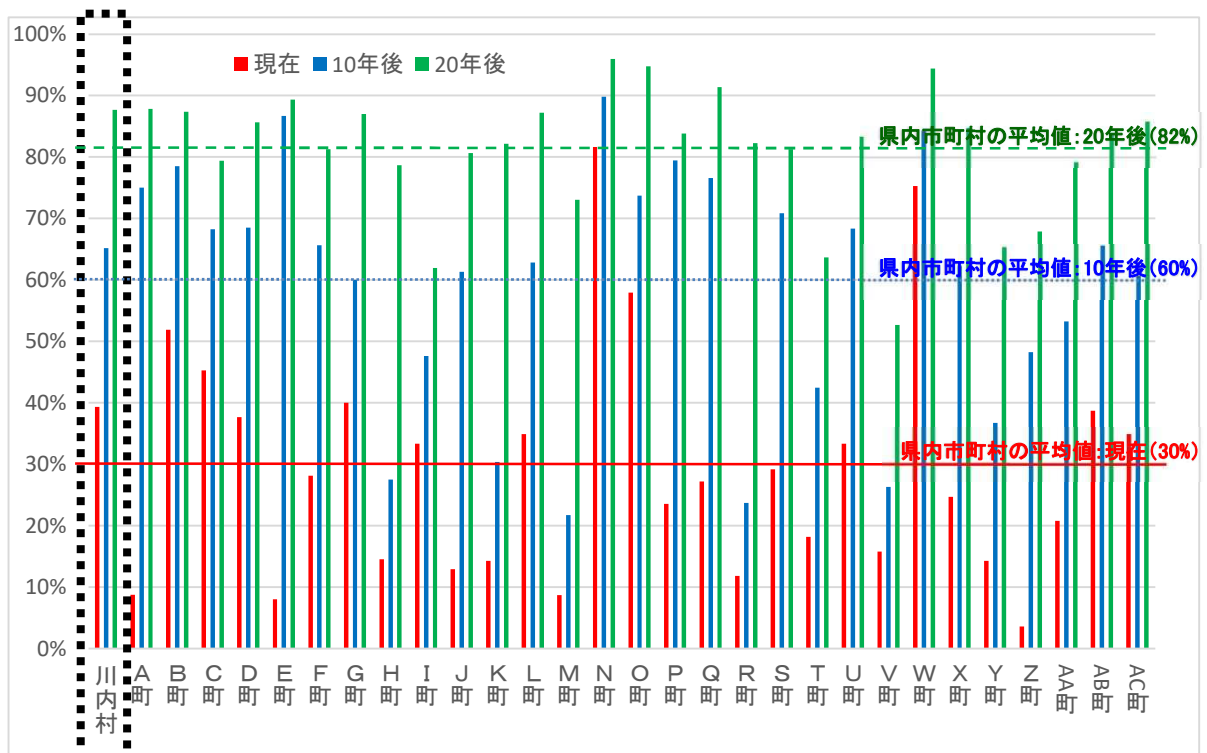
経過年数別橋梁数



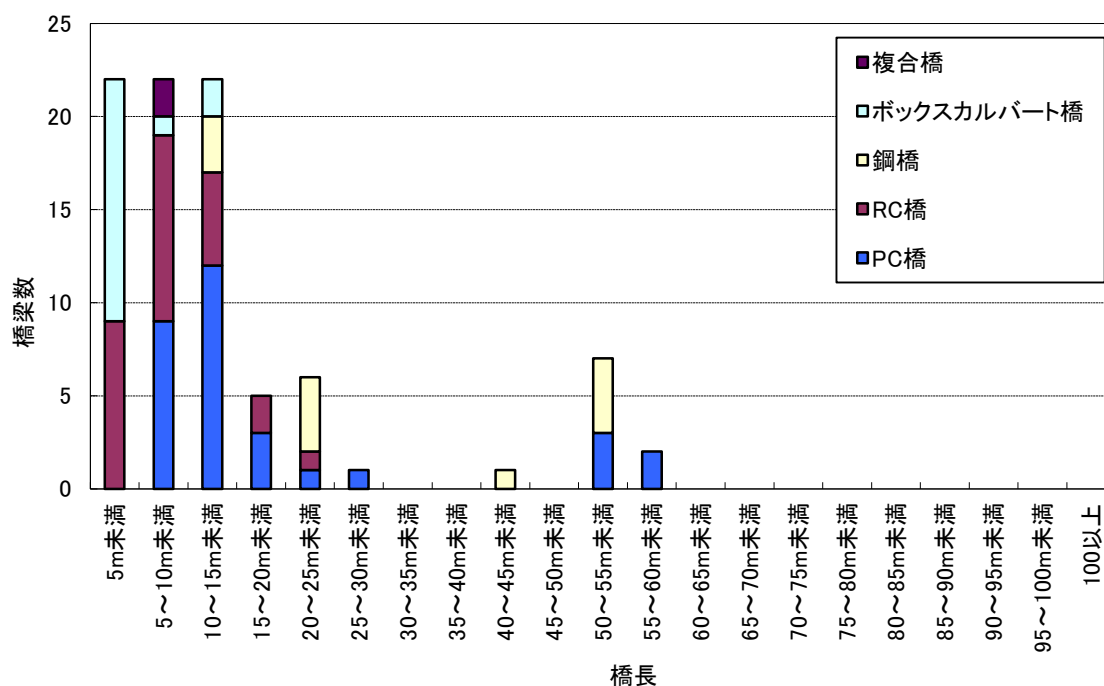
経過年数別橋梁数

長寿命化修繕計画で対象としている88橋のうち、建設後50年以上を経過している橋梁は34橋あり、全体の39%を占めています。その内3橋は建設後80年以上を経過しています。

県内市町村（抜粋）の建設後50年以上を経過する橋梁の割合

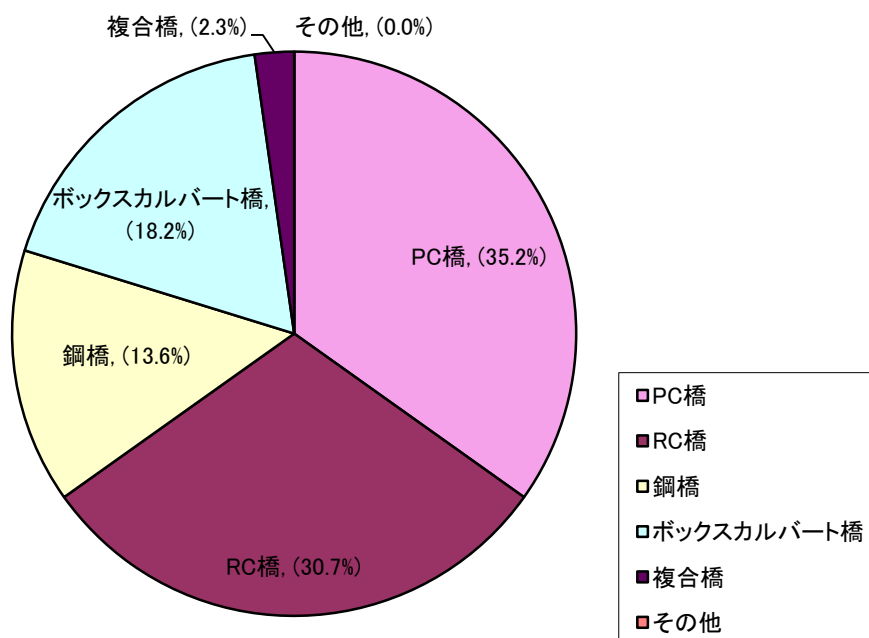


橋長別橋梁数



長寿命化修繕計画で対象としている88橋のうち、15m未満の橋梁が66橋あり全体の75%を占めています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



上部工使用材料別ではPC橋が31橋で全体の約35%、RC橋が27橋、ボックスカルバート橋が16橋でコンクリート橋が全体の84%を占めています。複合橋は、RCT桁+鋼H桁が1橋、RC床版+プレテン床版が1橋、鋼橋は12橋となっています。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針
(2. 計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

(・老朽化対策における基本方針)

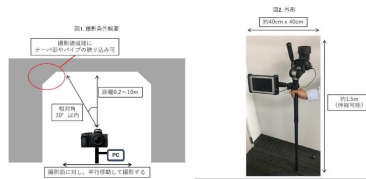
健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」(平成31年2月)に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

(・新技術等の活用方針)

定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。特に2巡目点検において、損傷が無しまたは軽微で、判定区分が「I」となった床版橋や溝橋等の小スパン橋梁については、AI診断等の活用を検討し費用の縮減やとりまとめ作業の効率化に努めていきます。その他、3巡目点検時においては、1橋程度について画像解析等の新技術の活用を目指し、検討していきます。



ドローンによる桁下の点検



デジタルカメラによる溝橋の点検



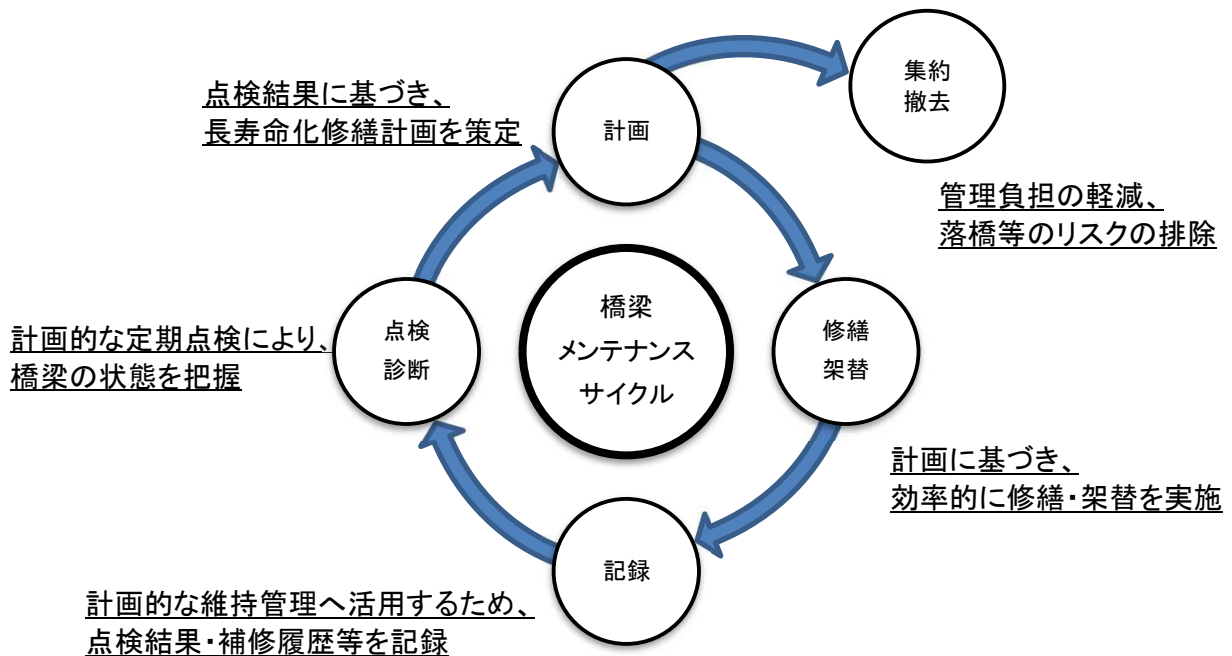
AI・画像診断

橋梁点検における新技術の活用例：(出典)国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、村職員及び委託業者によるパトロールを実施し、排水桝清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル 概念図

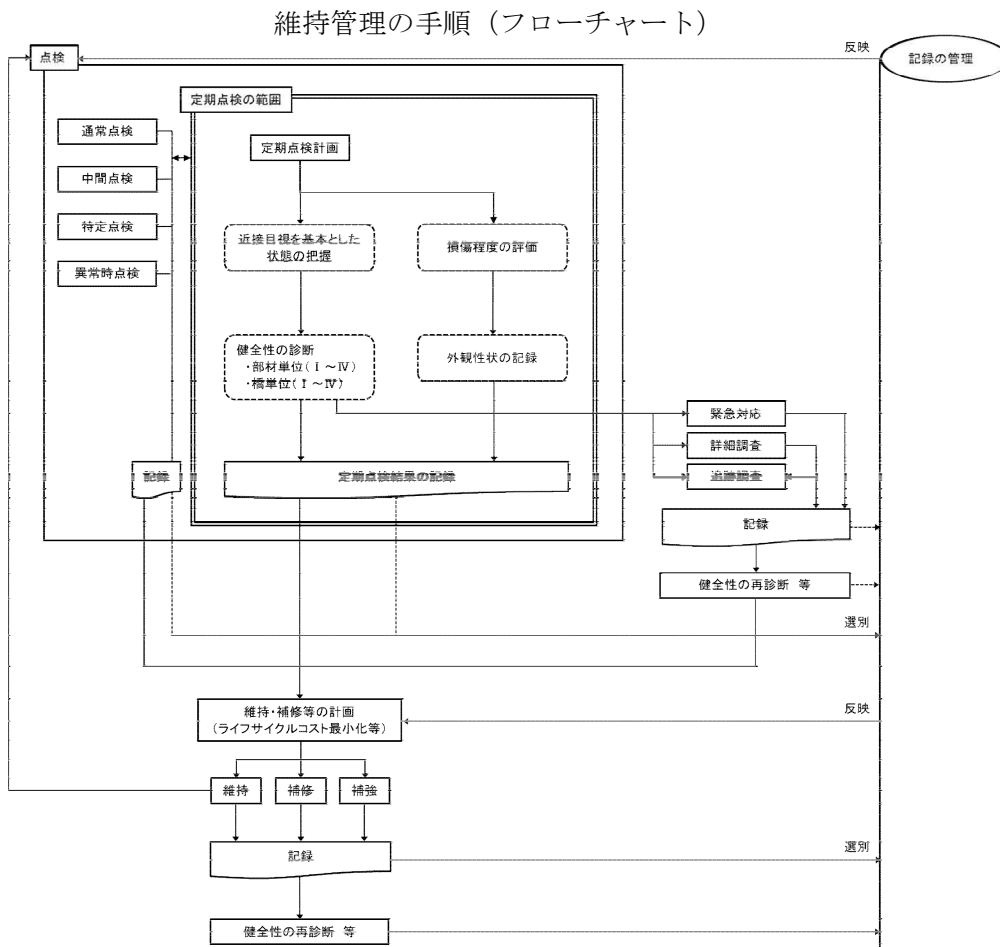


3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。(計画期間：2023年～2072年)

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突発的に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間年に実施するもので、定期点検時に、次回の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時で行われる点検。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針
 (3. 対策の優先順位の考え方)

川内村が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の88%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年以上とすることを目標とし、修繕及び架け替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面洗浄	桁洗浄
S	本格予防保全型 ・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度(※1) 該当3つ	健全度ランクD(4)にしない	原則架替えは行わない	○	○	② ※4	②
A	予防保全型 重要度該当2つ	健全度ランクD(4)にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B	事後保全型 重要度該当0または1つ	健全度ランクE(5)にしない	60年	○	○		⑤
C	経過観察型 ・重要度該当0かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE(5)になるまで	耐用年数まで	○	○		
備考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1,2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は橋梁ごとに設定	※2「日常巡回」は、排水樹の清掃及び沓座面の堆積土砂除去を実施(費用は計上せず) ※3橋梁点検費用は計上		※4簡易予防保全費用を橋梁ごとに計上する ②:2年に1回 ⑤:5年に1回	

(・費用の縮減に関する具体的な方針)

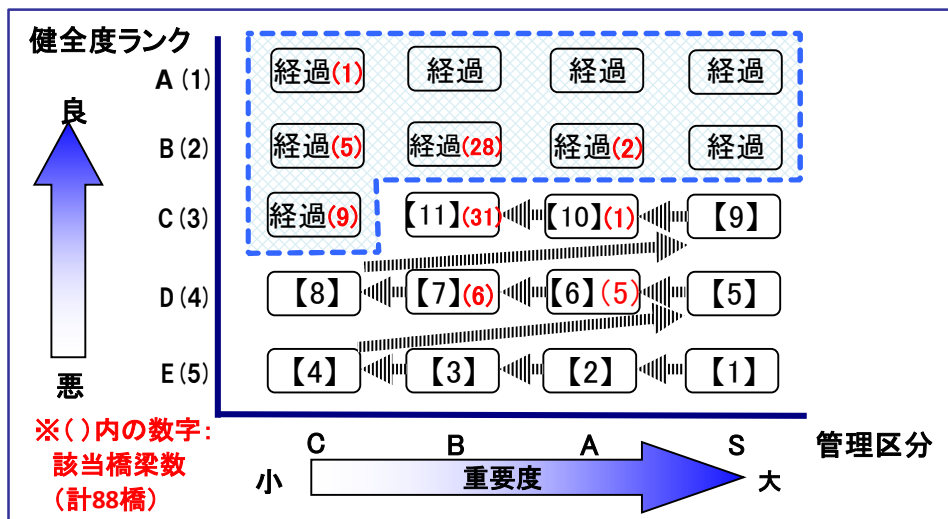
川内村の管理する経過観察型の橋梁の中には、供用開始当時に比べ利用状況が著しく減少している橋梁もあることから、現在の利用状況や代替え路の有無を把握したうえで周辺住民と調整し、橋の統廃合も視野に入れた維持管理を行っていきます。特に、**73.76号橋**については、利用状況が著しく減少していると考えられることから、橋の撤去等について検討を行い、点検費等の縮減に努めていきます（管理橋梁の点検費用約1%縮減）。

また、**3.宮渡橋**は、2020年代初頭開通予定の県道バイパス工事完成に伴い、利用者の著しい減少が予想されることから、歩道橋への機能縮小や、撤去に向けて検討していきます。

その他、小規模な水路（幅1m程度）を跨ぐ橋梁は、2m未満（溝橋定義外）のボックスカルバートや横断暗渠等への架け替えを検討し、点検・補修費用等のコスト削減を図ります。

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下の図により管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



3) 橋梁毎の点検結果 (個別施設の状態等)

3-1) 定期点検結果

川内村は平成29年度～令和3年度に、村が管理する橋梁について近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。

定期点検結果一覧
(判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C(3)」以上を抜粋：計52橋/88橋)

管理番号	橋梁名	橋長(m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工 年	経過 年	前回 健全度 区分	今回 健全度 区分	今回 健全度 ランク	部材 種別	適 用
0087	田吾沢橋	15.20	2	RC橋	RC T桁	5.50	1934	88	-	Ⅲ	D(4)	主桁、床版	補修・補強材の損傷、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0013	前谷地橋	21.30	2	RC橋	RC T桁	5.70	1954	68	-	Ⅲ	D(4)	主桁、下部工	剥離・鉄筋露出
0059	61号橋	12.60	1	RC橋	RC T桁	3.65	1960	62	-	Ⅲ	D(4)	主桁、横桁、床版	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、うき
0084	子安川橋	18.07	2	RC橋	RC T桁	4.00	1933	89	-	Ⅲ	D(4)	主桁、下部工	剥離・鉄筋露出、洗堀
0067	手古岡橋	51.20	2	PC橋	ポステンT桁	5.00	1991	31	-	Ⅲ	D(4)	主桁	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、うき
0047	47号橋	7.65	2	RC橋	RC T桁	5.70	1978	44	-	Ⅲ	D(4)	主桁	腐食、防食機能の劣化
0027	宮の下橋	54.40	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1973	49	-	Ⅲ	D(4)	主桁	腐食、防食機能の劣化
0078	81号橋	5.60	1	RC橋	RC T桁	3.00	1975	47	-	Ⅲ	D(4)	主桁	剥離・鉄筋露出、うき
0088	鍋倉橋	5.40	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1963	59	-	Ⅲ	D(4)	床版	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0042	渡橋	14.20	1	H型鋼	H形鋼(不明)	4.00	1972	50	-	Ⅲ	D(4)	主桁	腐食、防食機能の劣化
0019	19号橋	4.05	1	RC橋	RC 中実床版	3.30	1965	57	-	Ⅲ	D(4)	下部工	洗堀
0003	宮渡橋	55.18	2	PC橋	ポステンT桁	4.00	1979	43	-	Ⅱ	C(3)	主桁、横桁、床版	ひびわれ、漏水・遊離石灰、定着部の異常
0043	前谷地2号橋	16.00	2	PC橋	プレテン床版	3.00	1962	60	-	Ⅱ	C(3)	主桁、床版	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0015	後谷地橋	9.40	1	PC橋	プレテン床版	5.50	1966	56	-	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、うき
0058	五郎橋	10.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1978	44	-	Ⅱ	C(3)	主桁、床版	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0060	不動橋	6.06	1	RC橋	RC T桁	4.55	1936	86	-	Ⅱ	C(3)	主桁、下部工	ひびわれ、変形・欠損
0065	田尻橋	50.91	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1972	50	-	Ⅱ	C(3)	主桁	腐食、防食機能の劣化
0066	宇津川橋	52.20	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	4.00	1975	47	-	Ⅱ	C(3)	主桁	腐食、防食機能の劣化
0029	貝ノ坂橋	41.89	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	5.00	1980	42	-	Ⅱ	C(3)	主桁	腐食、防食機能の劣化
0011	11号橋	5.40	1	RC橋	RC溝橋(DOXカルバー)	4.00	1985	37	-	Ⅱ	C(3)	頂版、側壁	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0018	子安橋	18.10	2	PC橋	プレテン床版	3.60	1958	64	-	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0053	久保橋	25.24	3	PC橋	プレテン床版	4.50	1966	56	-	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0064	沼田橋	50.90	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1969	53	-	Ⅱ	C(3)	下部工	(補修済) 漏水・遊離石灰、変形・欠損
0070	73号橋	9.00	2	RC橋	RC 中実床版	4.20	1978	44	-	Ⅱ	C(3)	床版	漏水・遊離石灰、その他
0004	小山橋	20.48	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.65	1969	53	-	Ⅱ	C(3)	主桁、横桁	腐食、防食機能の劣化
0012	十八窪橋	14.70	1	PC橋	プレテンT桁	5.00	1985	37	-	Ⅱ	C(3)	横桁	漏水・遊離石灰
0034	34号橋	4.40	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1965	57	-	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損
0021	21号橋	7.60	1	PC橋	プレテン床版	4.10	1970	52	-	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	漏水・遊離石灰、変形・欠損
0074	77号橋	6.75	1	RC橋	RC 中実床版	6.60	1978	44	-	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	漏水・遊離石灰
0032	32号橋	3.90	1	RC橋	RC溝橋(DOXカルバー)	4.00	1990	32	-	Ⅱ	C(3)	頂版、側壁	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0041	41号橋	13.44	1	H型鋼	H形鋼(不明)	3.00	1978	44	-	Ⅱ	C(3)	床版	漏水・遊離石灰
0057	四郎橋	10.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1978	44	-	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	漏水・遊離石灰
0009	鍋越橋	14.10	1	PC橋	プレテンT桁	5.40	1983	39	-	Ⅱ	C(3)	床版	定着部の異常
0033	33号橋	7.20	1	RC橋	RC 中実床版	7.09	1970	52	-	Ⅱ	C(3)	下部工	変形・欠損
0031	31号橋	7.05	1	RC橋	RC 中実床版	6.00	1993	29	-	Ⅱ	C(3)	下部工	変形・欠損
0020	20号橋	6.45	1	RC橋	RC 中実床版	3.60	1965	57	-	Ⅱ	C(3)	下部工	漏水・遊離石灰、洗堀
0022	22号橋	4.30	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1970	52	-	Ⅱ	C(3)	下部工	漏水・遊離石灰
0023	23号橋	4.30	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1970	52	-	Ⅱ	C(3)	下部工	漏水・遊離石灰
0024	24号橋	4.30	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1970	52	-	Ⅱ	C(3)	下部工	漏水・遊離石灰
0035	35号橋	4.30	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1970	52	-	Ⅱ	C(3)	下部工	漏水・遊離石灰、変形・欠損
0055	万太郎橋	10.42	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1972	50	-	Ⅱ	C(3)	床版	漏水・遊離石灰
0026	26号橋	2.50	1	RC橋	RC溝橋(DOXカルバー)	4.30	1975	47	-	Ⅱ	C(3)	底版	変形・欠損
0030	30号橋	10.06	1	RC橋	RC 中実床版	5.00	1993	29	-	Ⅱ	C(3)	下部工	漏水・遊離石灰、変形・欠損
0038	38号橋	3.90	1	RC橋	RC溝橋(DOXカルバー)	8.70	1985	37	-	Ⅱ	C(3)	頂版、側壁、底版	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0039	39号橋	2.90	1	RC橋	RC溝橋(DOXカルバー)	4.60	1985	37	-	Ⅱ	C(3)	頂版、側壁、底版	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0054	55号橋	2.30	1	RC橋	RC溝橋(DOXカルバー)	3.70	1985	37	-	Ⅱ	C(3)	頂版、側壁	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0036	36号橋	4.30	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1985	37	-	Ⅱ	C(3)	床版	剥離・鉄筋露出
0072	75号橋	2.63	1	RC橋	RC溝橋(DOXカルバー)	3.30	1972	50	-	Ⅱ	C(3)	側壁、底版	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0075	78号橋	4.00	1	RC橋	RC 中空床版	4.40	1978	44	-	Ⅱ	C(3)	下部工	その他、変形・欠損
0044	44号橋	2.56	1	RC橋	RC溝橋(DOXカルバー)	5.40	2012	10	-	Ⅱ	C(3)	側壁、底版	変形・欠損
0073	76号橋	2.68	1	RC橋	RC溝橋(DOXカルバー)	7.30	1972	50	-	Ⅱ	C(3)	側壁、底版	変形・欠損
0040	40号橋	2.55	1	PC橋	PC溝橋(DOXカルバー)	2.40	1990	32	-	Ⅱ	C(3)	側壁、底版	変形・欠損

区分		状態	健全度ランク	判定区分	備考	該当橋梁数	割合
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	A(1)	健全	損傷が認められない	1橋	1%
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい 状態	B(2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	35橋	40%
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講ずべき 状態	C(3)	状況に応じ早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	41橋	47%
			D(4)	早急に補修必要	速やかに補修を行う必要がある	11橋	13%
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講ずべき 状態	E(5)	緊急対応の必要	緊急対策の必要がある	0橋	0%

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係

計88橋

3-2) 主要部材の損傷写真： 判定区分「Ⅲ」・健全度「D(4)」の橋梁



87. 田吾沢橋： RCT桁橋
(橋長：15.20m、1934年竣工)
主桁補強鋼板の著しい腐食。
補強部材の著しい腐食により、耐荷力の低下が推測される。(迂回路有り)



13. 前谷地橋： RCT桁橋
(橋長：21.30m、1954年竣工、2級村道)
主桁下面の広範囲な鉄筋露出。
露出鉄筋の著しい断面減少により、耐荷力の低下が推測される。(迂回路有り)



59. 61号橋： RCT桁橋
(橋長：12.60m、1960年竣工)
主桁全面の遊離石灰を伴うひびわれ。
雨水の浸入により、内部鉄筋の腐食が進行する可能性が高い。(迂回路有り)



84. 子安川橋： RCT桁橋
(橋長：18.07m、1933年竣工)
橋台基礎部の著しい洗堀。
基礎部の著しい洗堀により、鉛直支持機能の低下が推測される。(迂回路有り)

3-2) 主要部材の損傷写真： 判定区分「Ⅲ」・健全度「D(4)」の橋梁



67. 手古岡橋：ポステン桁橋
 (橋長：51.20m、1991年竣工)
 ポステン桁側面の錆汁、うき、剥離。
 内部鋼材の腐食の進行は、耐荷力の低下に
 影響する。(迂回路有り)



47. 47号橋：RCT桁橋+鋼H桁
 (橋長：7.65m、1978年竣工)
 主桁端部の著しい腐食。
 支点上での残存板厚の減少により、耐荷力
 の低下が推測される。(迂回路有り)



27. 宮の下橋：鋼H桁橋
 (橋長：54.40m、1973年竣工、2級村道)
 主桁端部の著しい腐食。
 支点上での残存板厚の減少により、耐荷力
 の低下が推測される。(迂回路有り)



78. 81号橋：RCT桁橋
 (橋長：5.60m、1975年竣工)
 主桁下面の鉄筋露出、うき。
 露出鉄筋の著しい腐食により、耐荷力の低
 下が推測される。(迂回路無し)



88. 鍋倉橋：RC床版橋
 (橋長：5.40m、1963年竣工、2級村道)
 床版下面の鉄筋露出、遊離石灰。
 露出鉄筋の著しい腐食により、耐荷力の低
 下が推測される。(迂回路有り)



42. 渡橋：鋼H桁橋
 (橋長：14.20m、1972年竣工)
 主桁端部の著しい腐食。
 支点上での残存板厚の減少により、耐荷力
 の低下が推測される。(迂回路無し)

3-2) 主要部材の損傷写真： 判定区分「Ⅲ」・健全度「D(4)」の橋梁



19.19号橋：RC床版橋
 (橋長：4.05m、1965年竣工、2級村道)
 橋台基礎部の著しい洗堀
 基礎部の著しい洗堀により、鉛直支持機能の低下が推測される。(迂回路無し)

4) 橋梁の補修状況

川内村は、定期点検結果より早期対策が必要な判定区分「Ⅲ」と診断された橋梁のうち、3橋について、橋梁の延命化及び安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害の防止を図るために、平成30年度、令和元年度及び令和3年度に、変状の詳細調査及び補修設計を実施しました。1橋 (**64. 沼田橋**) については令和元年度に補修工事が完了しています。

64. 沼田橋

鋼桁橋、橋長：50.90m
 1969年竣工

- ・2018(平成30)年度：補修設計
- ・2019(令和元)年度：補修工事

【補修工法】

- ・伸縮装置取替工
- ・支承取替工
- ・主桁端部再塗装
：NETIS登録技術採用
- ・縁端拡幅工
- ・ひびわれ補修(充填)工
- ・断面修復(左官)工
- ・橋台打替工



変状調査



支承傾斜調査

64. 沼田橋 詳細調査状況(抜粋)



64. 沼田橋 補修後(令和4年)の全景(右側から撮影)

判定区分「Ⅲ」⇒「Ⅱ」



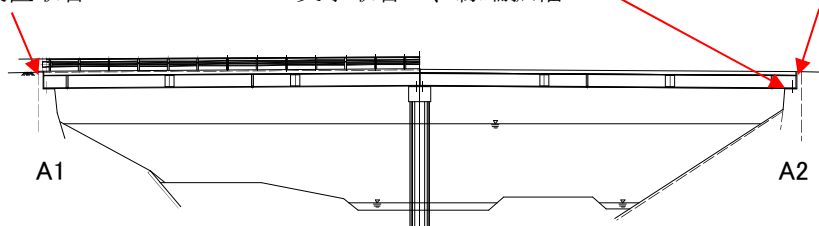
伸縮装置取替工



支承取替工、縁端拡幅工



主桁端部再塗装、橋台打替工



64. 沼田橋 補修状況(抜粋)

4) 橋梁の補修状況

27. 宮の下橋

鋼H桁橋、橋長：54.40m
1973年竣工、2級村道
迂回路有り
判定区分「Ⅲ」

- ・2019(令和元)年度：補修設計



補修前（令和4年）（左側）



主桁端部の腐食（板厚減少）

27. 宮の下橋 状況写真

84. 子安川橋

RCT桁橋、橋長：18.07m
1933年竣工
迂回路有り
判定区分「Ⅲ」
(通行止め規制中)

- ・2021(令和3)年度：補修設計



補修前（平成29年）（右側）



主桁の鉄筋露出

84. 子安川橋 状況写真



鉄筋レーダー探査



コンクリートコア抜き

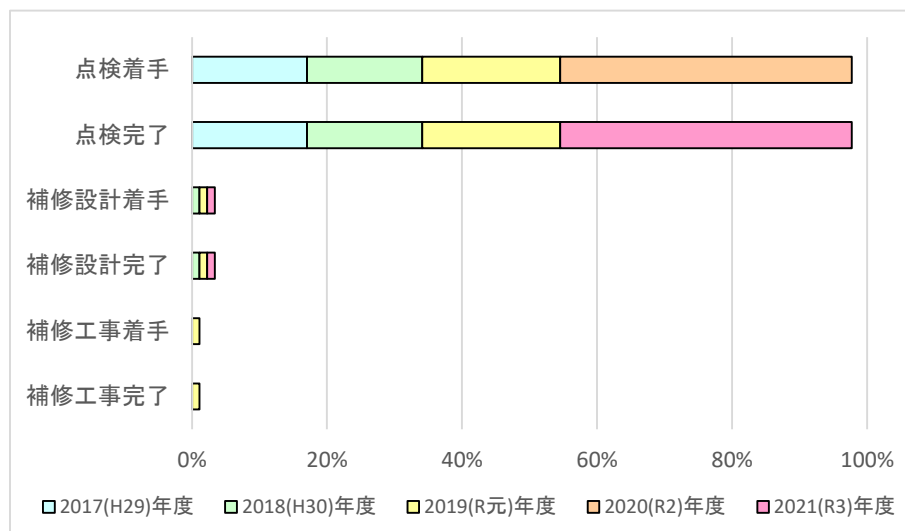


コンクリートはつり調査



鉄筋径測定

84. 子安川橋 詳細調査状況（抜粋）



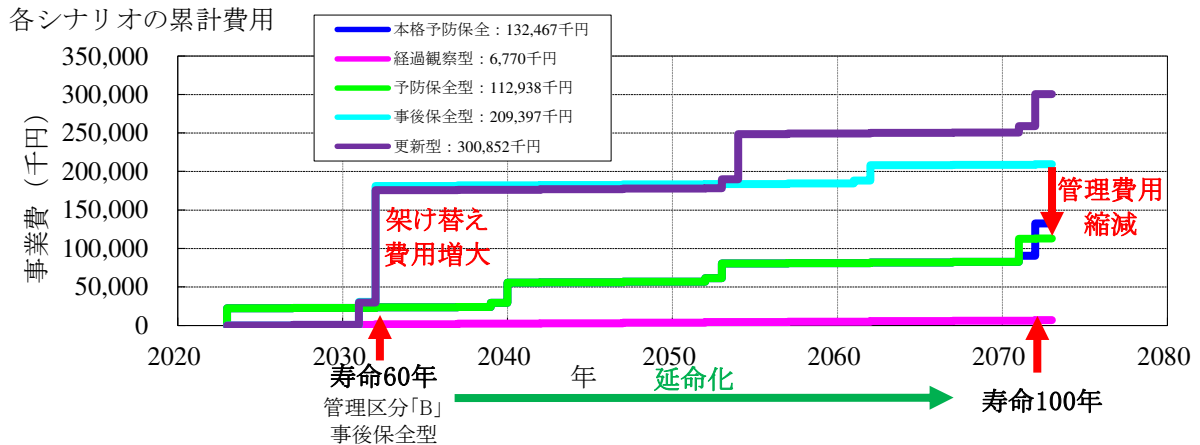
川内村 橋梁メンテナンス事業 着手状況（直近5ヶ年）

5) 長寿命化修繕計画上の寿命設定、管理区分の変更について

計画上の寿命設定について、管理区分「A」（予防保全型）の橋梁は100年、管理区分「B」（事後保全型）の橋梁は60年としています。川内村の管理する供用後50年以上を経過した橋梁34橋のうち27橋は、定期点検結果の判定区分が「I」または「II」であり当面供用は可能と考えられるため、寿命設定を「管理区分A」は150年、「管理区分B」は100年としました。延命化を図ることにより管理費用が縮減され、現実的な村の予算に近づけることが可能となります（下図参照）。

(例) 55. 田尻橋の事業費の推移

(鋼桁橋、橋長：50.91m、1972年竣工、当初管理区分「B」、判定区分「II」)



1. 原橋など橋長14.5m以上の22橋は、管理区分「B」（重要度の該当0または1つ）の橋梁ですが、集落間を結ぶ道路等に架かっており、利用者が比較的多いと思われるため、管理区分「A」の予防保全型に変更し、延命化・補修費用の縮減を図ります。

【管理区分「A」の予防保全型に変更する橋梁（計22橋：当初管理区分「B」）】

- ・判定区分「III」（5橋）：13. 前谷地橋、27. 宮の下橋、67. 手古岡橋、84. 子安川橋、87. 田吾沢橋
- ・判定区分「II」（9橋）：4. 小山橋、12. 十八窪橋、18. 子安橋、29. 貝ノ坂橋、43. 前谷地2号橋、53. 久保橋、64. 沼田橋、65. 田尻橋、66. 宇津川橋
- ・判定区分「I」（8橋）：1. 原橋、50. 檜生橋、52. 長網橋、61. 努ヶ橋、62. 努ヶ橋(歩道橋)、63. 下川内橋、77. 牛淵橋、81. 五枚沢橋



67. 手古岡橋
 ポステンT桁橋、橋長：51.20m
 1991年竣工
 判定区分：「III」



43. 前谷地2号橋
 プレテン床版橋、橋長：16.00m
 1962年竣工
 判定区分：「II」



1. 原橋
 鋼桁橋、橋長：20.33m
 1978年竣工、1級村道
 判定区分：「I」

管理区分「B」：事後保全型から管理区分「A」：予防保全型に変更する橋梁（抜粋）

3. 宮渡橋は、現在バイパス工事中の県道小野富岡線が開通（2020年代初頭開通予定）すると、利用者が大幅に減少すると考えられるため、機能縮小や撤去を視野にいれ、対策を実施しない経過観察型の「C」に変更し、補修費用の縮減を図ります。（50年間で約2億2千万円の削減）



起点側から撮影



右側から撮影

3. 宮渡橋（ポステンT桁橋、橋長：55.18m、1979年竣工、1級村道、迂回路有り、判定区分：「II」）

6) 優先順位の変更について

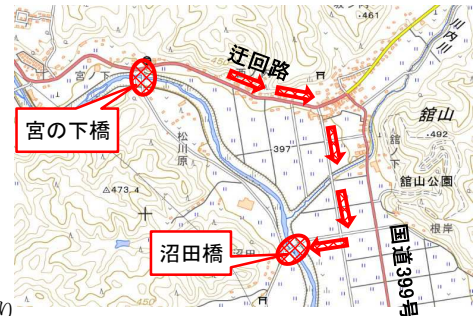
27. 宮の下橋及び**47. 47号橋**は、定期点検における判定区分を「Ⅲ」とした橋梁ですが、他の判定区分「Ⅲ」の橋梁と比較して、損傷は局部的であり、迂回路の確保も可能であることから、優先順位を下方修正しました (**27. 宮の下橋**：5位→10位、**47. 47号橋**：7位→11位)。



起点側から撮影



主桁端部の腐食(板厚減少)



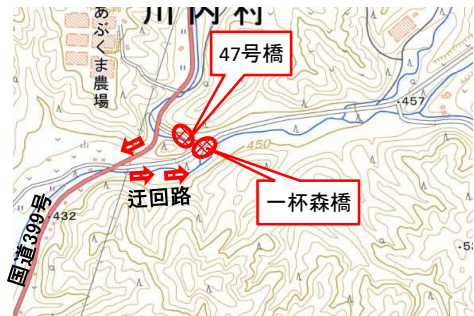
27. 宮の下橋：鋼H桁橋、橋長：54.40m、1973年竣工、迂回路有り



起点側から撮影



主桁端部の腐食(板厚減少)



47. 47号橋：鋼H桁+RCT桁橋、橋長：7.65m、1978年竣工、迂回路有り

7) 撤去・集約化、費用縮減に関する計画について

村道原・貝ノ坂線に架かる**73. 76号橋** (ボックスカルバート橋) については、本橋より起点側の**72. 75号橋**を過ぎると道路上に樹木が生い茂っており、利用者はおらず未使用区間になっていると考えられるため、法定外道路への格下げも視野に入れ、点検費用や補修費用等のコスト削減を図ります (本橋を管理外とすることにより、今後50年間で点検費用約235万円、補修費用約280万円の削減が見込まれます)。



起点側から撮影



右側から撮影



終点側から撮影

73. 76号橋：ボックスカルバート橋、橋長：2.68m、1972年竣工、判定区分：「Ⅱ」



8) 全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期 (5. 対策内容と実施時期)
 (・構造物の諸元、直近の点検結果及び次回点検年度)
 (・対策内容、対策の着手・完了予定年度)
 (・対策に係る全体概算事業費) (6. 対策費用)

様式1-2に、直近10年間の概ねの計画を示します。

補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めていきます。

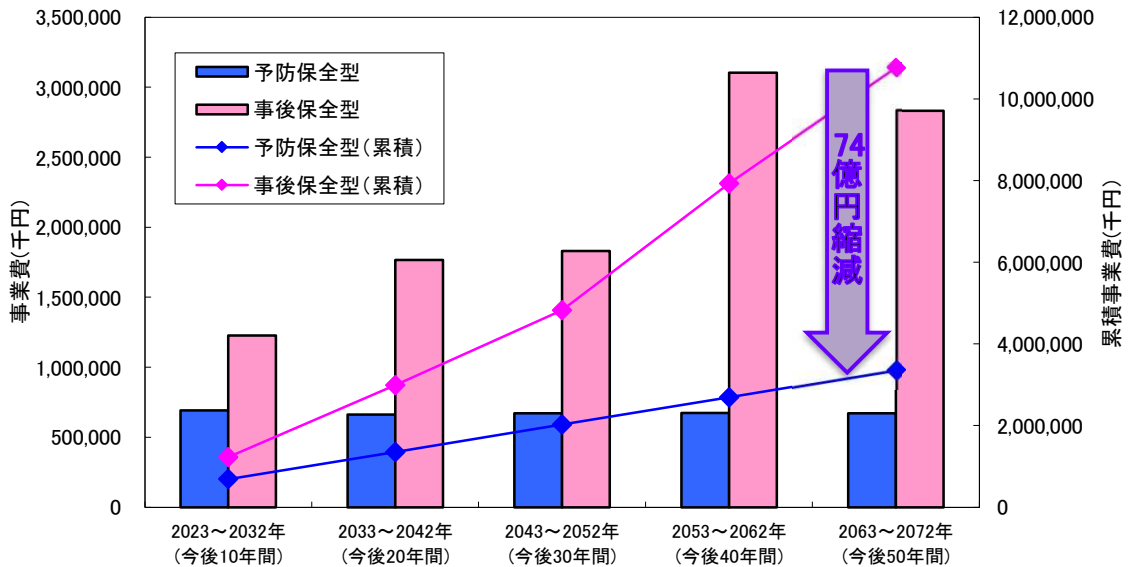
- 活用促進技術に指定されている新技術の例
 - ・鋼部材の塗装(錆転換型防食塗装)。
 - ・コンクリート部材の補修(断面修復工、表面含浸工)。
 - ・伸縮装置の止水・漏水対策、取替。

様式1-2、優先順位一覧表に概算の事業費を示します。

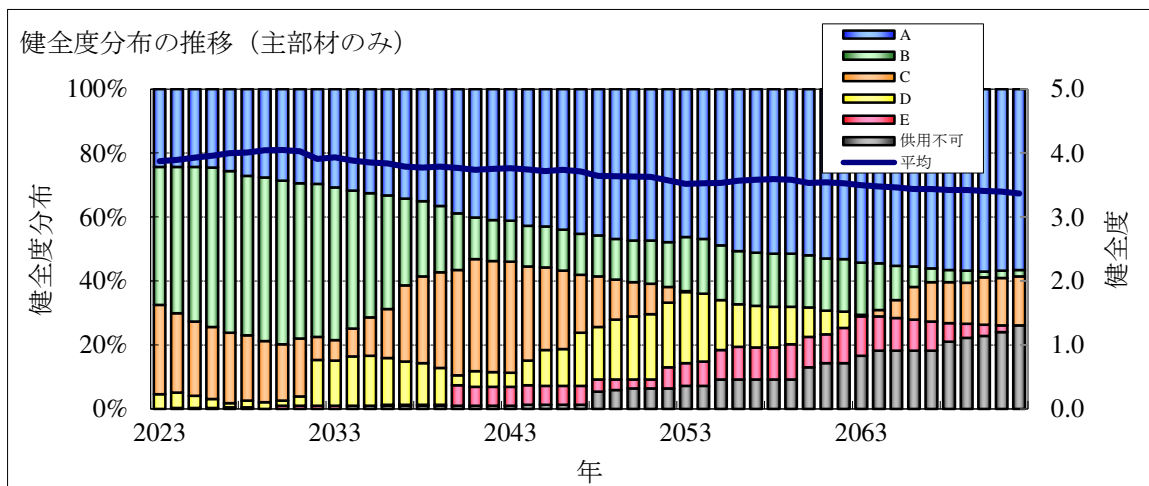
6. 長寿命化修繕計画による効果

川内村が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間の予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する88橋について、年間の予算制約額を0.70億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型(対症療法型)が108億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が34億円となり、コスト縮減効果は74億円(69%減)となります。



また、計画的な修繕を実施することにより、良好な健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

川内村 建設課 tel:0240-38-2117

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

【様式1-2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期（直近10年間）

年間予算額：0.70億円

凡例： ← 対策を実施すべき時期、補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期														合計 (千円) (点検・設計・補修費)		
								R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032						
田吾沢橋	その他	田ノ入・上滝線	15.2	1934	89	R4	Ⅲ			設計	点検	主部材:表面被覆	&足場						点検		41,652			
前谷地橋	2級	下原・後谷地線	21.3	1954	69	H30	Ⅲ		点検・設計	主部材:断面修復	&足場								点検		36,229			
子安川橋	その他	大根森・小安川線	18.07	1933	90	H29	Ⅲ		点検	主部材:表面被覆	&足場								点検		36,697			
手古岡橋	その他	宇津川・沼湯・荻線	51.2	1991	32	H29	Ⅲ		点検	設計	主部材:断面修復	&足場								点検	28,060			
61号橋	その他	万太郎橋・平伏森線	12.6	1960	63	H30	Ⅲ		点検	設計	主部材:断面修復	&足場									31,350			
81号橋	その他	沼ノ平・発電所線	5.6	1975	48	R3	Ⅲ			設計	主部材:表面被覆	&足場								点検	14,561			
鍋倉橋	2級	田ノ入・貝ノ坂線	5.4	1963	60	R4	Ⅲ			設計	点検	床版:床版防水	&断面修復	&足場						点検	13,207			
渡橋	その他	前谷地・三小線	14.2	1972	51	R2	Ⅲ			設計	主部材:主桁塗装	&足場								点検	7,287			
19号橋	2級	子安川・滝根線	4.05	1965	58	R3	Ⅲ			点検	橋台:根固め&ひびわれ補修									点検	8,541			
宮の下橋	2級	宮ノ下・石崎線	54.4	1973	50	H29	Ⅲ		点検										設計	主部材:3種ケレン&塗装	&足場	12,509		
47号橋	その他	原・炭焼場線	7.65	1978	45	R2	Ⅲ			点検									設計	主部材:3種ケレン&塗装	&足場	23,188		
前谷地2号橋	その他	下原・硯ノ沢線	16	1962	61	H30	Ⅱ		点検										設計	主部材:断面修復	等	42,936		
田尻橋	その他	堂小屋・沼田線	50.91	1972	51	H29	Ⅱ		点検										設計	主部材:塗装	等	29,734		
宇津川橋	その他	宇津川・沼ノ平線	52.2	1975	48	H29	Ⅱ		点検												点検	1,354		
貝ノ坂橋	2級	五枚沢・貝ノ坂線	41.89	1980	43	H29	Ⅱ		点検												点検	1,354		
子安橋	2級	子安川・滝根線	18.1	1958	65	H29	Ⅱ		点検											設計	橋台:ひびわれ補修	&断面修復	&足場	13,517
久保橋	その他	久保・下瀬耳上線	25.24	1966	57	H29	Ⅱ		点検											設計	床版:ひび割れ補修	等	20,068	
沼田橋	その他	砂田・沼田線	50.9	1969	54	H29	Ⅱ		点検											設計	橋台:ひびわれ補修	&断面修復	&足場	14,514
小山橋	その他	小山・早渡線	20.48	1969	54	H30	Ⅱ		点検											設計	主部材:塗装	等	19,303	
十八窪橋	2級	十八窪・大滝根線	14.7	1985	38	H30	Ⅱ		点検											設計	主部材:断面修復	等	62,061	
後谷地橋	2級	下原・後谷地線	9.4	1966	57	H30	Ⅱ		点検											設計	伸縮装置:取替(始端側)	等	7,520	
五郎橋	その他	万太郎橋・平伏森線	10.4	1978	45	H30	Ⅱ		点検											設計	点検	地覆:打換	等	12,938
不動橋	その他	木ノ葉橋・木ノ葉橋北線	6.06	1936	87	R1	Ⅱ			点検										設計	橋台:断面修復	等	26,852	
11号橋	1級	貝ノ坂・荻線	5.4	1985	38	R3	Ⅱ													設計	橋台:断面修復	等	488	
73号橋	その他	原・貝ノ坂線	9	1978	45	R1	Ⅱ													設計	橋台:断面修復	等	30,597	
34号橋	2級	毛戸川・吉野田和線	4.4	1965	58	R3	Ⅱ														点検	470		
21号橋	2級	子安川・滝根線	7.6	1970	53	R3	Ⅱ														点検	488		
77号橋	その他	北川原・平沢線	6.75	1978	45	R1	Ⅱ													設計	橋台:断面修復	等	12,041	
32号橋	2級	五枚沢・毛戸線	3.9	1990	33	R3	Ⅱ														点検	470		
41号橋	その他	後谷地・井戸ノ入線	13.44	1978	45	R2	Ⅱ														設計	8,699		
四郎橋	その他	万太郎橋・平伏森線	10.4	1978	45	H30	Ⅱ		点検											設計	橋台:断面修復	等	28,053	
鍋越橋	1級	宇津川・糠塚・手古岡線	14.1	1983	40	R2	Ⅱ														点検	864		
33号橋	2級	毛戸川・吉野田和線	7.2	1970	53	R3	Ⅱ														点検	488		
31号橋	2級	五枚沢・毛戸線	7.05	1993	30	R3	Ⅱ														点検	488		
20号橋	2級	子安川・滝根線	6.45	1965	58	R3	Ⅱ			設計	点検	伸縮装置:取替(始端側)	等								点検	4,953		
22号橋	2級	子安川・滝根線	4.3	1970	53	R3	Ⅱ														点検	設計	2,447	
23号橋	2級	子安川・滝根線	4.3	1970	53	R3	Ⅱ														点検	470		
24号橋	2級	子安川・滝根線	4.3	1970	53	R3	Ⅱ														点検	470		
35号橋	2級	毛戸川・吉野田和線	4.3	1970	53	R3	Ⅱ														点検	470		
万太郎橋	その他	万太郎橋・平伏森線	10.42	1972	51	H30	Ⅱ		点検											設計	伸縮装置:取替(始端側)	等	5,999	
26号橋	2級	子安川・滝根線	2.5	1975	48	R3	Ⅱ														設計	点検	2,434	
30号橋	2級	五枚沢・毛戸線	10.06	1993	30	R3	Ⅱ														点検	7,561		
宮渡橋	1級	宮渡・早渡線	55.18	1979	44	H29	Ⅱ		点検													点検	1,152	
38号橋	その他	続滝・大平線	3.9	1985	38	R3	Ⅱ														点検	470		
39号橋	その他	小塚・大平線	2.9	1985	38	R3	Ⅱ														点検	470		

【様式1-2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期（直近10年間）

年間予算額：0.70億円

凡例： ← 対策を実施すべき時期、補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期														合計 (千円) (点検・設計・補修費)			
								R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032							
55号橋	その他	沢・二小線	2.3	1985	38	R3	II					点検						点検				470			
36号橋	その他	小塚・日山線	4.3	1985	38	H30	II		点検								点検					470			
75号橋	その他	原・貝ノ坂線	2.63	1972	51	R3	II					点検						点検				470			
78号橋	その他	北川原・平沢線	4	1978	45	R3	II					点検						点検				470			
44号橋	その他	水渡・滝根線	2.56	2012	11	R3	II					点検							点検			470			
76号橋	その他	原・貝ノ坂線	2.68	1972	51	R3	II					点検						点検				470			
40号橋	その他	小塚・大平線	2.55	1990	33	R3	II					点検						点検				470			
中央橋	1級	宮渡・町分線	52.8	2014	9	H30	I		点検								点検					1,290			
努ヶ橋(歩道橋)	その他	中学校・宮渡線	54.75	1986	37	H29	I	点検									点検				点検	1,152			
沢橋	2級	沢・町分線	10.3	2003	20	R3	I					点検						点検				564			
努ヶ橋	その他	中学校・宮渡線	55	2009	14	H29	I	点検									点検				点検	1,290			
櫛生橋	その他	林・遠上線	23.87	1979	44	H29	I	点検									点検				点検	1,112			
長網橋	その他	下久保・長網線	21.4	1979	44	H30	I		点検								点検					1,354			
原橋	1級	林・長網・遠上線	20.33	1978	45	H30	I		点検								点検					772			
牛淵橋	その他	平梨・沼ノ平線	15	1998	25	R2	I					点検					点検					1,096			
五枚沢橋	その他	上滝・荻線	14.6	1964	59	H29	I	点検									点検				点検	864			
下川内橋	その他	坂シ内・堂小屋線	24.6	2008	15	H30	I	点検	← 点検 伸縮装置								点検					9,931			
坂下橋	2級	熊越・田ノ入線	10.12	1983	40	R2	I					点検						点検				1,002			
2号橋	1級	林・長網・遠上線	11.75	1978	45	R1	I					点検						点検				1,002			
平伏橋	その他	万太郎橋・平伏森線	12.4	1972	51	H30	I		点検								点検					1,116			
48号橋	その他	古町・原線	7.4	1985	38	R2	I					点検						点検				864			
的場橋	2級	下原・後谷地線	10.6	1985	38	R2	I					点検						点検				564			
25号橋	2級	子安川・滝根線	3.27	1975	48	R3	I					設計	← 点検 地盤・打換 等						点検			1,990			
炭焼場橋	その他	炭焼場・櫛生線	10.6	1995	28	R2	I					点検						点検				1,002			
7号橋	その他	荒宿・北川原線	8.37	1964	59	R2	I		設計	← 点検 伸縮装置								点検				6,873			
74号橋	その他	原・貝ノ坂線	11	1978	45	R2	I					点検									点検	564			
宇津川橋	その他	手古岡・手古岡南線	10.65	1960	63	R4	I														点検	1,354			
北川原橋	その他	荒宿・北川原線	7.31	1964	59	R1	I					点検						点検	← 点検・設計 伸縮装置	← 取替(始端側) 等		7,297			
79号橋	その他	北川原・平沢線	5.24	1972	51	R2	I					点検							点検	← 点検・設計 伸縮装置	← 取替(始端側) 等	5,428			
37号橋	その他	続滝・大平線	8.41	1985	38	R2	I					点検							点検			488			
90号橋	その他	毛戸ダム・毛戸線	13.6	1975	48	R3	I														点検	564			
87号橋	その他	田ノ入・小鷹鳥谷線	8.5	1979	44	R2	I					点検							点検			488			
糠塚橋	1級	宇津川・糠塚・手古岡線	11.35	1985	38	R2	I					点検							点検			864			
三ツ石橋	その他	宇津川・沼湯・荻線	7.3	1991	32	R1	I					点検							点検			488			
勝追橋	その他	宇津川・沼湯・荻線	7.36	1985	38	R2	I					点検							点検			488			
一杯森橋	その他	炭焼場・櫛生線	13	1993	30	R2	I					点検							点検			1,002			
水門橋	その他	林・原線	8.5	1985	38	R2	I					点検							点検			864			
5号橋	その他	荒宿・北川原線	14.3	2010	13	R2	I					点検								点検		564			
8号橋	その他	荒宿・北川原線	2	1964	59	R3	I					点検								点検		470			
89号橋	その他	上滝・荻線	2.55	1970	53	R3	I														点検	470			
52号橋	その他	下久保・長網線	2.4	1975	48	R2	I					点検								点検		470			
82号橋	その他	沼ノ平・発電所線	3.2	1975	48	R3	I														点検	470			
鍋倉橋	その他	田ノ入・田ノ入北線	7.7	1990	33	R2	I					点検							点検			864			
作田橋	2級	町分・早渡線	39	1971	52	H29	I																		
合 計 (千円)										68,584	68,645	69,913	69,322	69,385	67,362	69,272	67,101	65,260	68,980						

優先順位一覧 制約0.70億円

■:健全度E(5)	■:健全度B(2)
■:健全度D(4)	■:健全度A(1)
■:健全度C(3)	

番号	橋梁名	諸元								重要度評価指標							総合評価指標				部材健全度		優先順位指標 (A+100-B)	優先順位 (旧)	優先順位区分	管理区分	管理区分内訳										今後50年補修費用			橋梁名	
		橋長(m)	径間数	上部工使用材料	上部工構造形式	車道幅員(m)	竣工年	経過年	緊急輸送路	道路等級	緊急輸送路	橋長	車道幅員	道路区分	バス路線	交差条件	重要度合計(A)	耐荷性	災害抵抗性	走行安全性	平均(B)	部材種別					健全度ランク	緊急輸送路	道路区分	バス路線	該当数	評価①	交差条件	評価②	橋長5m未満	カルバート特異形式	評価③	余寿命(年)	今後5年(百万円)		残り(百万円)
0083	90号橋	13.60	1	PC橋	プレテン床版	5.50	1975	47	指定なし	その他	0	0	5	0	0	5	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	28.3	76	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.3	2.5	2.8	90号橋
0080	87号橋	8.50	1	PC橋	プレテン床版	2.60	1979	43	指定なし	その他	0	0	0	0	0	0	60.0	85.0	70.0	71.7	主部材	B(2)	28.3	77	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.2	60.5	60.8	87号橋
0069	三ツ石橋	7.30	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1991	31	指定なし	その他	0	0	5	0	0	5	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	28.3	79	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.2	79.1	79.3	三ツ石橋
0068	勝追橋	7.36	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1985	37	指定なし	その他	0	0	5	0	0	5	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	20.0	80	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.4	43.2	43.6	勝追橋
0045	一杯森橋	13.00	1	PC橋	プレテン床版	7.00	1993	29	指定なし	その他	0	0	10	0	0	10	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	20.0	81	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	30	0.5	31.6	32.1	一杯森橋
0049	水門橋	8.50	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1985	37	指定なし	その他	0	0	5	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	82	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.4	22.4	22.9	水門橋
0005	5号橋	14.30	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	15.27	2010	12	指定なし	その他	0	0	15	0	0	15	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	40.0	83	経	C	-	-	-	0	C	-	-	-	○	C	50以上	0.3	2.5	2.8	5号橋
0008	8号橋	2.00	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	5.25	1964	58	指定なし	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	84	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.2	2.1	2.3	8号橋
0082	89号橋	2.55	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.60	1970	52	指定なし	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	85	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.2	2.1	2.3	89号橋
0051	52号橋	2.40	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.00	1975	47	指定なし	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	86	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.2	2.1	2.3	52号橋
0079	82号橋	3.20	1	RC橋	RC 中実床版	2.85	1975	47	指定なし	その他	0	0	0	0	0	0	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	15.0	87	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	0.2	2.7	2.9	82号橋
0085	鍋倉橋	7.70	1	PC橋	プレテン床版	3.50	1990	32	指定なし	その他	0	0	5	0	0	5	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	5.0	88	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	27	0.4	17.3	17.7	鍋倉橋